

WG2第4テーマ「突然監査役になった身として…色々聞きたいこと」調査のまとめ

NO	質問	コメント
15	・ 監査役になって良かったこと？	①会社法やCPの勉強ができたこと ②社内外のネットワークがひろがったこと ③より会社の理解が進んだこと ④こんなに大切な役割があることに気付いたこと ⑤時間的な余裕ができたこと …悪かったことはなさそう??
16	・ 監査役のやりがい、生き甲斐とは？	①株主、従業員の役に立つこと ②困っている人のサポートが出来ること ③社員から信頼されること ④自分の指摘や意見で会社が良い方向に軌道修正できること ⑤社長と別の視点で会社を見て、気付いたことをザックバラに意見交換して、社長に会社を良くするように動いてもらえること ⑥社長も含めて取締役全員を監査するのがやりがいだが生き甲斐ではない ⑦やりがいとか生きがいという感触は今もってありません …「やりがい」とは？ 「生き甲斐」とは？ …一人ひとり様々
17	・ 監査役としての悩み？	①就任当初、具体的になにをすれば良いかがわからなかった ②執行面での口出しをしない様にするのがストレス ③直ぐに相談できる相手がいない。孤独感あり。 ④守秘義務の関係で、他人に相談できない ⑤妥当性監査に関して、ありきたりの提言しかできてない ⑥監査業務をどこまでやればよいのか …悩みは多い、が独特でもある …やるべきことをやっているか???
18	・ 監査役的活動に、親会社の縛りがあるか？	①あまりない。特になし。ない。 ②かなり強い。連携の場は確保されている。子会社側の意見は言える。 ③グループで制定したミニマムリクアイアメントで決まったルールを実施している。 ④親会社取締役監査委員が不定期に来る。 ⑤親会社内部監査部門による監査は3年に一回、監査Bの面談あり。 …縛りのあるところ、ないところ…
19	・ 監査役として自らの行動をどのように心掛けているか？	①監査役として後ろ指を指されないように、襟を正す。 ②自分の行動として法令違反は業務外でも普段からしていない ③困りごとを聞き、相談に乗っている。”よろず相談所”的な存在。助言を行う。 ④改善に役立つ監査 ⑤取締役とは常に別の視点で見る。 ⑥経営幹部にとっては、現場との距離を短くするパートナーでありたい。 ⑦グループの企業行動規範である「健全な常識」「おかしいと思う感性」「行動する勇氣」を常に意識する …全員、何かしら意識して、心掛け・行動している…
20	・ 監査役として清く、正しく行動出来ているか？	①心がけている。 ②おおむねできている。人目があるところでは出来ている。 ③そのつもりだが、監査役になって法令遵守に敏感になった。例えば交通法令。 ④ちょっと怪しい。自信ない。が、折に触れて監査役の役割と期待を思い出している。 …難しい …聖人・君子にはなかなかかなれない…
<ul style="list-style-type: none"> ・ 監査役はなかなか大変。何をどの程度やるべきか、我々、一人ひとりが考え、悩んでいる。 ・ 一人ひとりが独自に道を切り開き、自分の考え方を持つことだと感じています。 ・ 具体的には、会社ごとの文化、風土を理解し、社長をはじめとして様々な人々との人間関係を構築すること…なんでも言い合える関係を作ること。 ・ 自らが監査役として適切に行動出来ているか、会社に貢献できているか？を、定性的に、定量的に評価できるようになるとありがたい。 		